

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（平成30年度～令和4年度）
研究開発課題名	バイパラトピック抗体のパネル化による機能的人工抗体の探索デザインの高度化
代表機関名	国立大学法人京都大学
研究開発代表者名	秋葉 宏樹

総合評価：優れている

【評価コメント】

TNFR2 および CD30 のバイパラトピック抗体 (BpAb) 創製に向けて、着実に進捗させた。さらに、中間評価での助言を受けて詳細な生物活性評価も実施することで、BpAb の構造と活性について関係性を解析し、二重特異性抗体のデザインに有用な知見を得ている。また、早期の特許出願や導出につなげたことも評価できる。本技術構築は医薬品開発の発展に貢献するものであり、今後の研究展開に期待する。

本デザイン技術のさらなる汎用化に向けて、BpAb に適した抗原の特性解明や BpAb デザインの方法論の確立等、さらに検討を継続し、本デザイン技術に基づく医薬品が開発されることを期待する。

以上